



## 造影MR I 検査を受けられる方への説明

診療券番号： \_\_\_\_\_  
 患者氏名： \_\_\_\_\_ 様 生年月日： \_\_\_\_\_  
 説明日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 診療科名： \_\_\_\_\_

### 1. 造影MR I 検査とは

造影MR I 検査とは、ガドリニウムと呼ばれる金属を含んだ薬を血管内に注射して行う検査で、病変の存在や性状などが詳しく描出され、診断に役立ちます。また、肝臓の検査では鉄分を含んだ薬を用いることがあります。

### 2. 造影剤の副作用

検査に際しては、その時点での症状や以前にかかった病気、家族の方がかかった病気などに注意しながら安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記の様な副作用症状が起きることがあります。

#### 軽い副作用（頻度は1～2%以下）：

吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、発疹、かゆみ、発熱、せきなど  
 （鉄分を含んだ薬の場合、特に腰痛や背部痛が起こることがあります）

#### 重い副作用（極めてまれで1万人に1人以下）：

まれにショックやアナフィラキシー様反応（例えば呼吸困難や血圧低下など）が生じることがあります。また極めてまれ（頻度は約100万人に1人）ですが、造影剤による副作用で亡くなる方がいることも知られています。（鉄分を含んだ薬の場合、その頻度は不明です）

以下の既往がある方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強く出る場合もあり、造影検査を行わないことがありますので、必ず問診票の記入をお願いいたします。

- a. 今までに造影剤やヨード過敏症による症状を起こしたことのある方
- b. 気管支喘息などのアレルギー性疾患のある方
- c. ほかの薬剤過敏症やじん麻疹などアレルギー歴のある方

### 3. 副作用の予知について

初めて造影検査を受けられる方、または今まで造影剤による症状を起こしたことのない方が、今回の造影検査で副作用を起こすかどうかをあらかじめ調べる方法は現在のところありません。

### 4. 造影MR I 検査を行えないもしくは注意が必要な場合

妊娠中の方、妊娠している可能性のある方は全ての造影MR I 検査、高度腎機能障害のある方（透析治療を受けている方を含む）は原則としてガドリニウム造影MR I 検査は行うことができません。  
 また授乳中の方はご相談ください。

以上の説明をご理解いただいた上で、別紙の同意書にご署名をお願いいたします。

- ・ 同意書に記入された後でも、いつ造影検査を拒否されてもかまいません。
- ・ 本同意書は、外来検査では各検査1枚ずつ必要です。
- ・ 入院中の検査では、同一診療科の診療範囲内であれば、入院中は同意書1枚で継続して使用いたします。

なお、ご不明な点は担当医師または下記にお問い合わせください。

#### 問い合わせ先

聖マリアンナ医科大学病院 画像センター  
 044-977-8111（内線 6100）  
 平日 午前 9時 ～ 午後 5時